第十九号議案

江戸川区勤労福祉会館条例の一部を改正する条例

右の議案を提出する。

平成二十六年二月十七日

提出者 江戸川区長 多田正見

江戸川区勤労福祉会館条例の一部を改正する条例
 江戸川区勤労福祉会館条例（昭和五十年三月江戸川区条例第四十号）の一部を
 次のように改正する。
 別表を次のように改める。
 別表（第六条関係）

洋弓場	体育室		和室		集会室						種別	使用料（一時間単位）	
	貸切りの場合	貸切りでない場合	第二	第一	第六	第五	第四	第三	第二	第一			
貸切りの場合	貸切りの場合	貸切りでない場合											
一時間単位	一時間単位	二時間単位											
	小・中学生	一般（高校生以上）											
三 一 〇 円	無料	一〇〇円	二 一 〇 円	二 一 〇 円	六 二 〇 円	六 二 〇 円	四 一 〇 円	二 一 〇 円	二 一 〇 円	二 一 〇 円	六 二 〇 円		

備考

貸切りでない場合 一時間単位

一〇〇円

- 一 貸切りの場合に限り、一時間を超える利用時間については、三十分を単位として利用することができるとし、当該単位にあつては、規定使用料の五割を徴収する。
- 二 利用者が、入場料その他これに類する料金を徴収する場合は、規定使用料の五割相当額を増徴する。
- 三 体育室は、スポーツのために利用する場合に限り、二分（床面積の二分の一）して利用することができる。この場合においては、規定使用料の五割を徴収する。

付 則

（施行期日）

1 この条例は、平成二十六年四月一日（以下「施行日」という。）から施行する。

（経過措置）

2 この条例による改正後の江戸川区勤労福祉会館条例別表の規定は、施行日以後に利用する者から適用し、同日前に利用する者及び同日前に既に利用の承認

を受けている者については、なお従前の例による。

(説明)

消費税法(昭和六十三年法律第百八号)の改正に伴い、使用料の額を改める必要があるので、本案を提出いたします。